



## 3学期のスタートにあたって

校長 高田 篤志

新しい年を迎え、3学期がスタートしました。

始業式は、寒さや感染症対策のためリモートで行いましたが、一年の締めくくりをよりよいものにしようと、みんなで心を一つにして気持ちを高めることができました。

### 3学期始業式で伝えたこと（抜粋）

新年のご挨拶をします。「明けましておめでとうございます。」「今年も、よろしくお願ひします。」

うれしいお知らせです。荒井先生が、ご結婚されて紺谷先生になられました。今度から、「紺谷先生」と呼んでください。

皆さん、18日間の冬休みは、よい休みになりましたか。目当ての「すすんで!」はできましたか。きっと進んで学習をしたり、家の仕事を手伝ったりしたことでしょう。この調子で、3学期もがんばりましょう。

さて、3学期はとても短い学期です。あっという間に終わります。6年生は50日、1から5年生は46日しかありません。この3学期は、今の学年の「しあげ」をする大事な学期です。ですから、一日一日を大切に過ごしてほしいと思っています。

この3学期を、どんな顔で終わりますか。「終わりよければ、全てよし」と言われています。にっこり笑顔で終わりたいですね。そこで、「みんなで 笑顔を生み出す チームJ」の合言葉を3学期も大切にしたいと思うのです。

笑顔を生み出すためには、目当てをしっかりとって過ごすことが大切です。城端小学校には「あいさつ」「すすんで」「なかよし」の3つの自慢がありますが、校長先生が大事にしてほしいことは…「自分で決める!」です。3学期は、目当てを自分で決めてチャレンジしてほしいと思います。

自分で決めた目当てにチャレンジをして、3学期も、みんなでどんどん笑顔を増やしていきましょう。

そして、ますます素敵な城端小学校をつくっていきましょう。

